

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 吉成 卓
 栃木県高体連柔道専門部長 渡邊佐知夫
 〈公印省略〉

令和4（2022）年度第45回全国高等学校柔道選手権大会栃木県大会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。
 つきましては、貴校関係職員（部活動指導員等）・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

記

- 1 主催 栃木県柔道連盟（公財）全国高等学校体育連盟柔道専門部
- 2 共催 栃木県高等学校体育連盟
- 3 主管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期日 令和5年1月20日（金）開場8：00 男女個人試合 審判監督会議10：00 予定
 令和5年1月21日（土）開場8：00 男女団体試合 審判監督会議 9：30 予定
- 5 会場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 宇都宮市西川田4-1-1 Tel.028-684-2200）
- 6 競技方法及び規定
 - (1) 試合は国際柔道試合審判規定（最新版：2022-2024）によって行う。
 - (2) 団体試合及び個人試合男女ともにトーナメント方式とする。
 - (3) 試合時間について
 全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
 - (4) 優勢勝ちの判定基準について
 - ① 団体試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表戦を行い、必ず勝敗を決する。「僅差」は指導差2とし、「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差】の順とする。
 - ② 個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決める。「僅差」は指導差2とする。
 - (5) 全ての試合で3位決定試合を行う。男子団体試合は5～8位の決定試合を行う。決定方法は、準々決勝試合同ブロック敗者同士の試合を行い、次に勝ちチームで5・6位決定試合、負けチーム同士で7・8位決定試合を行う。
 - (6) 団体試合における勝敗の決定について
 - ① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
 - ② ①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
 - ③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
 - ④ ③で同等の場合は代表戦を行う。
 男子は代表選手を任意で選出し、代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。女子は「引き分け」対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式で実施する。なお、「引き分け」対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、選手が2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、時間無制限で行う。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。
 - (7) 個人試合 男女体重別4階級及び無差別とする。
 - (8) 男女団体試合優勝校及び男女個人試合優勝者は「令和4年度第45回全国高等学校柔道選手権大会（令和5年3月20、21日）」の出場権を得る。
- 7 参加資格及び制限
 - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
 - (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、（公財）全日本柔道連盟に令和4（2022）年度登録している者。
 - (3) 平成16年4月2日以降に生まれたもの。令和4年度に当該校第2学年以下の生徒。但し、定時制・通信制の生徒は第3学年以下とする。同一学年での出場は1回限りとする。
 - (4) 選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。
 - (5) 転校後、6ヶ月未満の者は、参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
 - (6) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
 - (7) 団体試合について※シードについては「令和4（2022）年度各種大会シード権について」に準ずる。
 - ① 男女とも1校1チームとし、全・定・通の混成は認めない。
 - ② 男女とも外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。
 - ③ 男子チームの編成は、監督1名、選手6名の7名とする。ただし、選手は3名から5名でも良いが、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰めにする。なお、オーダーは試合毎に決定できる。
 - ④ 女子チームの編成は、監督1名、選手3名、補欠2名の6名とする。選手は2名以上で出場可能。
 - ⑤ 女子の体重区分は次のとおり
 先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別とする。なお、体重の軽い者は重い階級に出場できる。
 - ⑥ 申し込み選手に事故が起き、選手を変更する場合は大会当日の審判・監督会議までに、校長の証明書添えて申し出たもののみ認める。選手変更には制限は設けない。
 - ⑦ 合同チームでの参加を推奨する。勝ち上がりは無しとする。ただし、合同チーム同士の対戦の場合はその限りではない。

- (8) 個人試合について※シードについては「令和4(2022)年度各種大会シード権について」に準ずる。
- ①男子個人試合(4階級+無差別) 体重区分は次のとおりとする。
- ・60kg級→60kg以下の者
 - ・73kg級→66kgを超え73kg以下の者
 - ・無差別→体重の制限は設けない
 - ・66kg級→60kgを超え66kg以下の者
 - ・81kg級→73kgを超え81kg以下の者
- ※エントリーは1校4名までとする。別枠は設けない。
- ②女子個人試合(4階級+無差別) 体重区分は次のとおりとする。
- ・48kg級→48kg以下の者
 - ・57kg級→52kgを超え57kg以下の者
 - ・無差別→体重の制限は設けない
 - ・52kg級→48kgを超え52kg以下の者
 - ・63kg級→57kgを超え63kg以下の者
- ※団体試合先鋒エントリー選手⇒48、52kg級、無差別
- ※〃 中堅〃 ⇒57、63kg級、無差別
- ※エントリー数に制限はない。
- ③選手の変更は組合せ抽選の前日までに委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。
- ④外国人留学生の参加人数の制限は設けない。

- 8 引 率 引率責任者は、校長が認める当該校の職員とし、選手のすべての行動に責任を負うものとする。また、校長から引率を委託された「部活動指導員」も可とし、その場合は栃高体連に届出をする。
- 9 計 量 (1) 予備計量：1月20日(金) 8：30～9：00
本計量：〃 9：00～9：50(変更がある場合は放送で周知する)
- (2) 回数：2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。
- (3) 計量時の服装については、原則として男子は短パン(またはスパッツ)のみ、女子は上がTシャツで下が短パン(またはスパッツ)とする。
- 10 参加申込 (1) 申込み方法 (以下の手順で行い、(2)に示す申込先①・②に必ず両方を送付する。)
- ①高体連柔道専門部のホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードし、データを入力し、プリンターで印刷したものを送付すること。押印の無い物は受付ない。
- ※栃木県柔道連盟 → 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部 → 大会要項・申込み
- ※HPアドレス <http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>
- ②データを入力した申し込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付し(烏山高校:平野 聖 宛て)電子メールにて送付すること。
- ③FAXによる申込は不可。大会不参加の場合のみ所定の用紙に記入しFAXにて回答可とする。
- (2) 申 込 先 ①〒320-0846 宇都宮市滝の原3-5-70 県立宇都宮高校内 市川敦敏 宛て郵送※使送不可
②電子データ 県立烏山高校内 平野 聖 宛てに送信 hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp
- (3) 申込締切 **令和5年1月12日(水) 必着**「(1) ①. ②ともに」とする。
※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。
- (4) そ の 他 大会参加に際して提供される個人情報には本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- 11 参 加 料 (1) 団体試合 ①男女各5,000円 ②合同チーム5,000円÷構成人数
(2) 個人試合 1名1,000円
- 12 組 合 せ 1月17日(火) 高体連柔道専門部委員会の責任抽選によって決定する。抽選結果は高体連柔道専門部のホームページで1月18日(水)以降に発表する。
- 13 安全管理 (1) 大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃高体連の「危機管理マニュアル」に
感染予防 則り、適切に対応する。
(2) コロナ感染症への対応は、関連する「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、適切に対処する。※大会参加1週間前から健康記録を行うこと。なお、健康記録表兼同意書については、高体連柔道専門部ホームページからダウンロードし、大会当日の武道館入場時に提出すること。
- 14 そ の 他 (1) 高体連柔道専門部委員会は1月17日(火) 13：30～ユウケイ武道館会議室1
(2) 脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。
④当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。
(3) 皮膚真菌症(トンズランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(4) 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(赤ラベル)を着用すること。帯については青ラベルでもよい。また、女子の黒帯は白線入りの帯は不可とする。
(5) 氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用すること。
(6) 団体試合出場校は、1月21日(土)受付の際に、初戦の団体試合オーダー表を提出すること。男子は以降、毎試合オーダー表を受付に提出するが、変更が無い場合は試合毎に本部に申し出ること。オーダー表は高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。
(7) 大会参加にあたっては、本人および保護者の同意を得ること。
(8) 8：00開場後、直ちに試合会場の準備を行うので、参加校・選手の協力をお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更となる可能性があります。変更等があった場合は高体連柔道専門部ホームページ等を活用し、周知いたします。

栃高体連柔道専門部 委員長 市川敦敏 栃木県宇都宮高等学校 TEL 028-633-1426
